

仙台市河川愛護会会報

会報 第1号
令和5年12月7日



令和5年度仙台市河川愛護会視察研修会開催 ふるさとの川・荒川づくり協議会(福島県福島市)へ現地視察

開催日時：令和5年11月7日（火）
協 力：ふるさとの川・荒川づくり協議会
福島市建設部河川課

当日のスケジュール

（午前の部）

荒川地蔵原堰堤の現地視察

（午後の部）

1. ふるさとの川・荒川づくり協議会との意見交換会

2. 講演 福島県の外来生物対策の概要

講師 福島県生活環境部自然保護課

副主査 加藤 翔子 氏

3. 講演 南東北河川の侵略的外来植物

講師 福島大学共生システム理工学類

教授 黒沢 高秀 氏

研修会当日の朝は、前日からの降雨によりあいにくの空模様となりましたが、福島市内に入るころには回復し、ふるさとの川・荒川づくり協議会（以下「協議会」）の皆さんとともに荒川堤防沿いの紅葉を眺めながら、堰堤まで散策することができました。地蔵原堰堤は、自然災害に対する先人の知恵が結集された歴史的建造物であり、観光資源にも活かされていることに感銘を受けました。また、堰堤の水しぶきも大変爽快なものでした。

午後からの意見交換会は、時間が限られていたこともあり、十分なものとはいきませんでしたが、協議会の活動をホームページに掲載していること、荒川の除草は協議会による業務委託で実施していること、また、活動資金について荒川沿川企業から協賛を受けていることなど、参考となる取り組みが紹介されました。

福島県自然保護課加藤副主査の講演では、東北地方の先行事例として生物多様性基本法等に基づき進められている福島県の外来種対策について、推進計画を含めたお話をきくことができました。

福島大学黒沢教授からは、外来生物が地域固有の生態系に与える影響や外来生物法による罰則、外来生物の駆除には専門的な知識と早期対策の重要性についてご講演をいただきました。



現地視察先の荒川地蔵原堰堤前での記念撮影写真



地蔵原堰堤について現地説明をする
荒川づくり協議会 会長 佐々木 秀明 氏



意見交換会で課題について語る池田会長



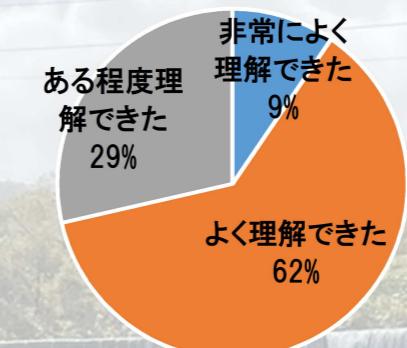
河川の侵略的外来植物について講演する
福島大学 黒沢教授



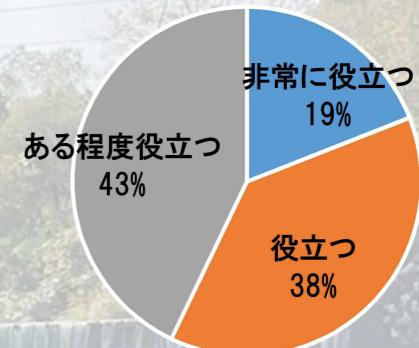
福島県の外来生物について講演する
福島県自然保護課 加藤副主査

視察研修会アンケート集計結果

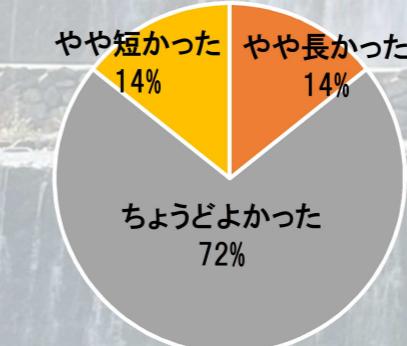
①視察先の活動内容は
理解できましたか？



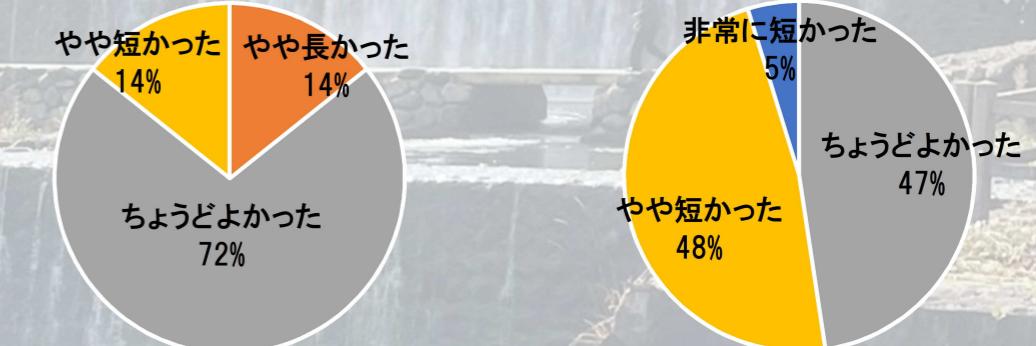
②今後の活動に役立ちますか？



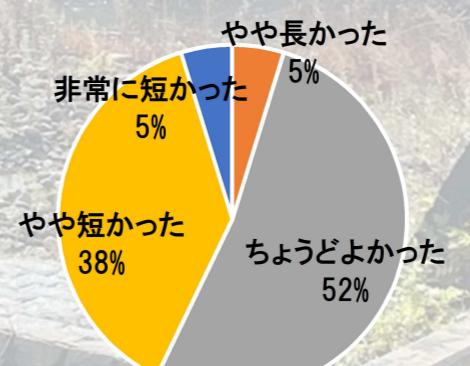
③現地視察の時間は
適切でしたか？



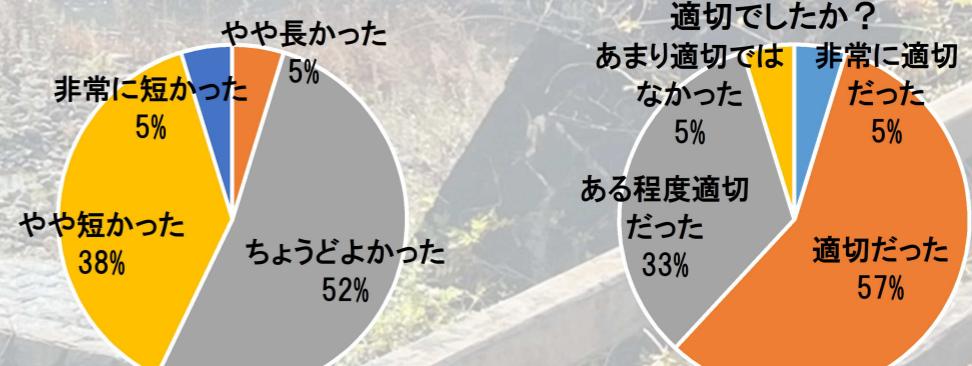
④意見交換会の時間は
適切でしたか？



⑤講演の時間は適切でしたか？



⑥視察の開催時期は
適切でしたか？



視察研修会のアンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。開催時期は、紅葉と重なったこともあります、概ね好評を得ることができました。視察研修会全体としては、講演も含めて外来生物の理解につながったとの一方で、各持ち時間が短く理解、質問がしにくかったとの声がありましたので、反省点として改善していきます。視察研修会開催のお礼の言葉もありましたことに感謝いたします。

加盟団体の紹介募集

加盟団体紹介を今後順次掲載予定です。
我先にと希望する団体があれば、事務局までお問い合わせください。

背景写真募集

掲載希望の写真をお持ちの方は右記の「お問い合わせEメール」までお送りください。

お問い合わせ

仙台市河川愛護会事務局
仙台市建設局下水道建設部河川課
TEL: 022-214-8836
FAX: 022-268-4312
Eメール: ges011250@city.sendai.jp